人権だより

宇和高校人権委員会
作成者：人権委員
2018. 11. 22

◇人権ホームルーム活動について

11 月 9 日に、各クラスの係や人権委員が中心となり、人権ホームルーム活動が行われました。

１年）「差別の現実に学ぶ ― アンネのバラから考える ―」をテーマに活動しました。

昔から続く民族や宗教、人種間の対立による差別問題が今も改善されず悲惨な結果を生んでいることを知るとともに、個人を尊重し認め合うことが差別解消につながることを学びました。

◆感想◆

○偏見や差別によって人が殺されてしまう時代は怖いと思った。
○これからもまたこのようなことが起きてはならないし、起こさないためにも自分が正しく生きようと思った。
○普通の生活ができていることがどれだけ尊いことなのか、改めて理解することができた。

２年）「解放運動の歴史Ⅱ ― 解放令と水平社宣言 ―」をテーマに活動しました。

解放令から水平社宣言に至るまでの解放運動の歴史を把握するとともに、なぜ差別がなくならなかったのか考え、不合理な差別を許してはいけないことを学びました。

◆感想◆

○もっと世の中のことを正しく、たくさん知ろうと思った。
○人の心の弱さが差別を存続させていると思った。
○「人の世に熱あれ、人間に光あれ」という言葉に、差別を解消するための強い覚悟を感じた。

3 年）「結婚差別の解消」をテーマに活動しました。

結婚差別は、近い将来自分たちが直面する可能性のある人権問題です。何が不合理な差別につながるかを理解するとともに、結婚差別そのものの解消のために何かできるか考えました。

◆感想◆

○正しい知識を得て、発信していくことで差別は少しずつなくなっていくと思う。
○少しでも多くの人が嫌な気持ちにならず、幸せな結婚をしてほしい。
○学校で自分たちが学ぶだけでなく、正しい知識を共有し、一緒に考えていくことも大切だと思いました。

◇おわりに

人権を正しく理解し、「差別を許さない」という強い意志を持ち、差別のない社会を実現しましょう！